

令和4年度 第63回 大学院セミナー

令和5年1月17日

| | |
|--|--|
| 分野名 Area of Research (責任者名)(内線) | 人類遺伝学分野 (原研遺伝) 責任者名(吉浦 孝一郎) 内線(7118) |
| 演題 Title | 第168回原研研究集会 GENKEN research seminar 「難病ゲノム医療研究の現在と今後」 |
| 講師等 Presenter | 国立成育医療研究センター・ゲノム医療部・部長 要 匡 (かなめ ただし)先生 |
| 概要 Abstract | <p>網羅的ゲノム解析を活用するゲノム医療・ゲノム研究は、近年、米国 Precision Medicine Initiative~All of US (100万人ゲノム計画)、英国 10万人全ゲノム計画 (現在100万人計画) など世界的潮流となっている。その対象は、主にがんと希少疾患 (わが国での希少・難病) であり、希少・難病に対する網羅的ゲノム解析は、原因解明から診断と、当該患者への恩恵が得られているばかりでなく、ありふれた疾患の治療、生命現象の理解にも大きく貢献している。一方、現在の短鎖型次世代シーケンサ (短鎖型 NGS) を用いたゲノム解析での問題点も明らかとなり、その解決も重要なテーマとなっている。</p> <p>本講演では、まず、わが国での難病ゲノム医療研究の現在について、希少・未診断疾患イニシアチブ (IRUD) を中心に、研究部での実績などを紹介する。IRUD では、主に短鎖型 NGS による全エクソーム解析が行われており、現在の診断到達率は約40%強であるが、次に、解析後未解決症例の解消を目的とした、前述の問題点解決を含めたわが国での取り組みについて述べる。そして、これらを踏まえ、難病ゲノム医療の実現へ向けた今後について考察する。</p> |
| 開催日時 Date and Time | 令和5年2月9日(木) 17:30~19:00 |
| 開催方法 Online/Face to face | オンライン開催:Zoom |
| 備考 Notes | 受講を希望する場合は meeting 情報をお教えしますので、必ずご連絡ください。(email: kyoshi@nagasaki-u.ac.jp) If you would like to participate in this seminar and need Zoom ID please contact to the following email address(kyoshi@nagasaki-u.ac.jp). |

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)